

JOMF 派遣医師便り (2012. 06)

◆マニラ◆

もしみなさんの目の前で人が倒れたら、あなたはその人に何ができますか？
マニラ心肺蘇生セミナー報告

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

メッセージ（日本救急医学会ホームページより）：

『もし、みなさんの目の前で人が倒れたら、あなたはその人に何ができますか。日本では年間約 5 万人もの方が、心臓突然死でなくなっておられます。

日本救急医学会は、一人でも多くの方に「心肺蘇生」を知って頂きたいと思っています。

みなさんの手で救える命があります。

さあ、いっしょに学んでいきましょう。』

去る 2012 年 4 月 28 日、5 月 26 日にマニラ心肺蘇生セミナーを行いました。これからも月に一回のペースでこのセミナー開催していく予定です。実際に人形を使用し胸骨圧迫（心臓マッサージ）と人工呼吸や AED（自動体外式除細動器）の使用法を学んでいます。4 月、5 月には小学生からご高齢の方まで合わせて 30 名以上の方々が参加してくださり、みなさんとても真剣に学んでおられました。

インストラクターとして在フィリピン日本国大使館医務官の小杉隆史先生、フィリピン熱帯医学研究所で研究をされている東北大学の山本大先生、東洋インキの吉岡淳一さん、日本人会診療所の Joel B. Garcia 先生らがお手伝いして下さいました。小杉先生、山本先生は医師の立場からの確かなアドバイスと指導を、また吉岡さんは日本赤十字社での専門的講習受講歴の経験を生かし市民の立場に立った視点で指導をして下さいました。Garcia 先生は英語でフィリピン人参加者への指導を中心に行って下さいました。みなさんお忙しい中をボランティアで協力して下さい、心より感謝しています。

患者さんの意識確認、1 分間に 100 回のリズムで胸骨圧迫 30 回、人工呼吸 2 回、再び胸骨圧迫 30 回・・・心拍再開が無ければこれら「強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫」を繰り返します。AED や救急隊等の援助が来るまで続けます。セミナーではこれら一連の動作がスムーズにできるように学びました。

参加者のみなさんは汗ダクダクになりながら一生懸命に学んでおられました。各グループのインストラクターに質問し、ご自分たちのスキルがアップしていくのを実感しておられたように思います。2 時間という短い時間でしたが、セミナーを通して肺や心

臓の解剖・生理学的な働きにも親しみを持っていたと思います。

“まさか、こんなことが起こるなんて”、ということが無いのが最良です。しかし、もしそのようなことがあっても、セミナーに参加したみなさんは率先して隣で倒れている人に救助の心肺蘇生を試みていただけることでしょう。

今後もひとりでも多くの方々に学んでいただきたいと思っておりますので、マニラ心肺蘇生セミナーを続けていこうと思います。

これまで参加できなかったみなさんも是非ご参加してください。一緒に学んでいきましょう。また、以前に参加していただいた方々もお待ちしています。何度も繰り返し、体で覚えていただくことが大切です。そして、命を救うためのリーダーとしてこの輪を広げて行っていただきたいと思います。

みなさま、お体を大切になさってください。（2012年6月8日記）

（予定）

第4回「マニラ心肺蘇生セミナー」開催予定：

テーマ：「世界にひとつだけの命」

日時：7月14日（土曜）

時間：13時30分～15時30分

場所：マニラ日本人会診療所待合室

（日程につきましては事前に再確認をお願いいたします。

マニラ日本人会診療所：電話：02-818-0880）